

古道ロマン「東山道」

■地域のねらい

- ・ 阿智村周辺道路の景観づくり、伝統文化振興、地域の文化啓蒙、産業の活性化を目指す。
- ・ ①歴史の遺産の再発見・整備 ②大自然を身近に感じるルートの整備 ③阿智村での新たな雇用・産業の創出を活動方針とする。

■活動エリアと地域資源

- ・ 長野県阿智村内の網掛山周辺旧東山道(推定)上、及びその周辺、園原・富士見台高原周辺、昼神温泉内、岐阜県中津川市内、富士見台高原から中津川市側の旧東山道沿線をエリアとする。
- ・ 東山道とは古代律令による官道の一つで、近江を起点に美濃・信濃・上野・下野を経て陸奥に通じていたとされている。
- ・ 長野県は中山道が発達したことにより、古代東山道は埋もれた存在になっていったが、それにより却って「1300年の昔を変わらない佇まいで東山道を残す要因」となっている。

■地域の活動推進体制

- 東山道古文学推進協議会(パートナーシップ)
 - ・ 昼神温泉まちづくり委員会、阿智村観光協会、NPO東山道神坂総合研究所などで構成
 - ・ 道路管理者(阿智村)

東山道推定路線図

